《単年度》申請書記入要領

(1)　この申請書は、そのまま複写して選考資料にしますので、黒ボールペンか黒インクで記入してください。ワープロの文書を貼付ける場合は枠外にはみ出さないようにして糊付けしてください。

(2)　ワードに直接入力して申請書を作成する場合、既定の枠を縮めたり、広げたりしないように作成してください。既定の枠を変更した場合、選考対象外となります。

(3)　器具・器材の購入以外でも、購入先により価格が一律ではないもの（印刷・製本・企画費など）や会場の賃借料等は見積書や価格表が必要です。

(4)　太線の枠外（事務局使用欄）には記入しないでください。

Ａ：単年

ボランティア・市民活動支援総合基金
ゆめ応援ファンド　単年度 助成申請書

★必ず記入要領を参照してください。
★太線の規定の枠内に記入してください。
★黒のインク･ボールペンをご使用ください。

27 年度

①グループ・団体名		ふりがな　せんぷらぼらんてぃあのかい センプラボランティアの会　(法人格：　任意団体　)				
②所在地		(〒162 － 4126　) 牛込区　神楽橋　1-23-45-101 TEL.　03(9235)1171				
③代表者	氏名	ふりがな　とうきょう　ときお 東京　時雄	年齢	55歳	職業	会社員
	住所	(〒162 － 4126　) 牛込区　神楽橋　1-23-45-101				
④連絡先	責任者氏名	ふりがな　ゆめ　ちかこ ゆめ　ちか子	日中連絡先	TEL.　080(3235)1171 MAIL.　central-v@plaza.jp		
	郵送先	(〒162 － 0260)　※この住所に加え団体名・責任者名を併記して郵送します。 牛込区魚河岸21-1　小川荘201号				
グループ・団体の概要	⑤ボランティアグループとしての設立年月	1988年　10月	法人としての設立年月	2001年　10月	⑥会員数	６０　名
	⑦活動目的及び主な活動内容	私たちは、地域で一人暮らしをしているご高齢の方から「毎日一人で食事をしているが一人分を作るのは大変。味気もないので、食事をする気にならない」という声を聴き、長く健康に生活するために「楽しく・美味しく・食べる」ことをモットーに設立した団体です。食事を楽しみながらよりよい生活が送れるよう、下記の事業を実施しています。 1．食事サロン　………………週１回、公民館調理室にて調理し、一人暮らし高齢者20名を対象に、一緒に食事をする集いを開催。 2．ひとり暮らし高齢者訪問…地域在住のボランティアが、区内の在宅高齢者宅（10名）を、お弁当配達を兼ねて週１回訪問。話し相手や家事援助を行う。 3．学習会の開催………………年４回、介護保険制度や、フレイル予防の体操などを学び、終了後は一緒に調理して、食事を楽しむイベントを開催。 4．会報の発行………………　会報を年4回発行。公共施設、社協等の窓口に配架。				

⑧今年度の予算状況

収入		支出	
会費　年 2,000 円× 60 名＝	120,000 円	※団体の予算書にもとづいて記入	
会費　年＿＿円×＿名＝	＿＿円	事業費	
寄附金	＿＿円	印刷費	200,000円
助成金	200,000 円	講師謝礼	120,000円
補助金	＿＿円	会議費	10,000円
収益金（食事@200 × 1,920 食）	384,000円	旅費交通費	120,000円
		食材費	20,000円
その他（　　　　）	＿＿円	管理費	
		賃借料	50,000円
前年度からの繰越金	20,000 円	消耗品費	50,000円
合計	724,000 円	合計	570,000円
次年度への繰越予定額（見込みのある場合）			154,000円

⑨今年度、または定期的に受けている助成等（本基金を除く）	助成団体名	助成年月	助成金額	助成内容
	牛込区社会福祉協議会	毎年	50,000	活動費助成
	都橋記念財団	2025年7月	150,000	給食サービス調理器具

⑩過去の本基金採択の有無　[✓ 有]・無　2011　年

⑪本助成金申請事業について他の助成金を申請している場合	【助成団体名】（公財）東京ボランタリーアクション財団【申請金額】　250,000　円 【申請内容】　下記⑲費用とは別に 報告書作成費用として、印刷製本費、報告書配送費、原稿執筆謝礼を申請中。

①正式な名称を記入して下さい。法人格がある場合は「ＮＰＯ」「一社」「社福」などを( )内に明記してください。

④日中につながる連絡先を記載。

⑦機関紙、パンフレット等活動内容がわかるものがあれば添付してください。

⑧活動と別に団体の維持に必要な費用（例：電話代、家賃など）は管理費として内容を費目に分けて記入して下さい。また、予算書もしくは前年度の決算書があれば添付してください。

⑪本事業に関して、本基金の他、助成金を申請している場合は記入してください。

⑧申請書作成時点での各団体の年次で進行中の予算を記入ください。

⑫この助成情報の入手先	１．区市町村のボランティアセンター・市民活動推進団体／２．東京ボランティア・市民活動センター／３．その他、公共施設・マスコミ・知人等（いずれか番号を○で囲む）

申請する案件について

⑬区分	１．学習・研修活動　２．調査・研究活動　３．器具・器材の開発・購入　４．市民への啓発活動 ５．モデル的活動　６．その他
⑭事業(器材)名	高齢者問題を考えるつどい「みんな元気に！　2027」の開催
⑮実施期日・実施期間	開始／　２０２７　年　７　月　４　日　　終了／　２０２７　年　７　月　５　日
⑯申請理由	開催にするにあたって、会場については無料で借りられる目処がつきましたが、当日資料の印刷については見通しが立ちません。また、講演だけでなくワークショップをやってみたいので講師を外部の方にお願いしようと思います。そのため講師謝礼が必要です。 今後の活動参加者を確保する意味でも、若い人を含め区内に幅広く呼びかけを行いたいので、広報用のチラシ作製に伴う経費についても、併せて申請します。
⑰内容及び計画	高齢者がまちで安心し生きがいを持って生活していくために、みんなでどんなことができるのかを考える場として、関心を持つワークショップを開催し、地域で起きている問題に対する理解を深め、活動への参加を促進する。 １．日　程：７月４日・５日（2日とも午前は講演会／午後はワークショップ） ２．会　場：牛込公会堂「区境ホール」及び会議室 ３．内　容：講演「こんなことができたらいいねッ！このまちで」 講師　坂東雄太（羅村在宅介護支援センター副所長） ワークショップ「活動二倍で元気も二倍！！となる方法」 講師　河村亜紀（ＮＰＯ法人「元気二倍」主任コーディネーター） ４．人　数：１００名（予定） ５．参加費：３００円
⑱期待される効果	当団体の存在を知ってもらう機会となり、活動への参加者の増が期待できます。 自分たちが住む地域にある、さまざまな課題を知り、気づくことができます。 一人ひとりが自分にできることを考え、行動へつながる機会となります

⑲必要な費用の内訳

※今回申請する案件にかかる経費のみ記入

項　　目	単　価	数量	金　額 (a)	うち自主財源 (b)	助成申請額 (c)＝(a)－(b)
当日資料	310	150	46, 500		46, 500
講師謝礼	20, 000	4	80, 000		80, 000
チラシ印刷費	20	1, 000	20, 000		20, 000
通信費	240	10	2, 400	2, 400	0
〃	80	500	40, 000	40, 000	0
ワークショップ材料費	1, 200	5	6, 000	6, 000	0
合　計　(円)			194, 900	48, 400	146, 500
助　成　申　請　額　（千円未満を切り捨て）			１４６　，０００円		

⑳本事業で見込んでいる自主財源について
該当項目全てに○（[✓ 参加費]　・　売上　・　[✓ 団体持出]　）

★グループ・団体の広報紙、パンフレット、予算書または決算書を作成している場合は添付してください。
★物品の購入や印刷等を業者に発注する場合は、実際に購入・依頼する業者の見積書やパンフレットを添付してください。

事務局使用欄	受付日		受付番号		整理番号	

⑫この欄も必ず○をつけてください。

⑬いずれかの番号（複数の場合も中心となるもの）を一つ○で囲んでください。

⑯ 申請する事業（または器材）の必要性、自主財源確保への努力状況等を記入してください。

⑰ 目的、対象、日程、会場、講師、予定人数などを記入し、プログラム案等を添付して下さい。器具・器材購入の場合は、その設置・保管場所を明記してください。

⑲報告書等の冊子類を作成する場合には、簡単な企画概要や目次など、内容のわかるものを添付してください。

※この欄は事務局で使用しますので記入しないで下さい。